広報あいかわ
第5号
毎月1回発行
発行所　合川町役場
編集人　合川町役場総務課広報係
（発行部数 2,300）

驛前に大火發生

驛、日通などを焼く

損害五千万を超す

十九日午前二時十五分当町駅前、日雇戸松与市さん方附近より出火、早朝のこととて発見がおそく、更に住家の密集、水利の不便などの悪条件が重なり、火は一瞬にして燃えひろがり地元分団をはじめ各地区隊及び附近町村消防団必死の消火活動にもかゝわらず駅、日通営業所をはじめ駅前商店街を焼いて五時鎮火した。

原因、損害等については警察をはじめ関係機関で調査中であるが、損害は五千万円を超すものとみられるこの火災に対し県では救助物資として毛布、肌着類を現場に急送し温い援助を与えているほか、日本赤十字社秋田支部、秋田県共同募金会からもそれ〴〵見舞金品が送られて来ている。

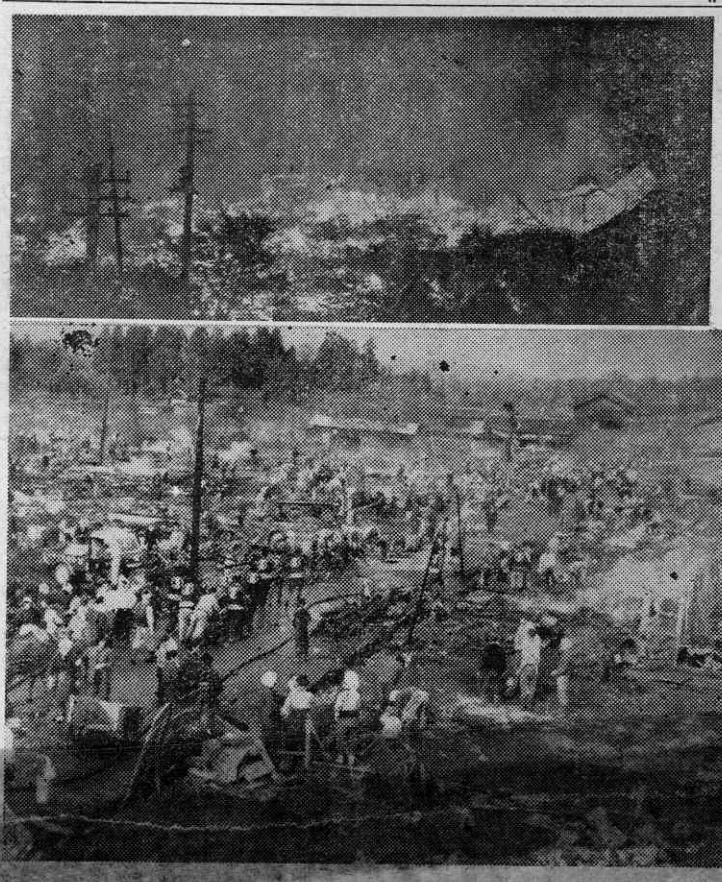
町では同日午前九時より合川東中学校に急施議会を招集し対策について協議したが、とりあえず罹災世帯に対する見舞金の贈呈、住宅建設資金の借入あつせん厚生資金の借入あつせん、罹災家屋復興資材の払下げあつせん等について委員会を設けて救助することになり、委員会は即日その活動を開始した。

また今日の火災の延焼原因の中には道路の狭小なども相当影響していることも考えられるので、当局では都市計画と並行して道路の拡張などについても慎重に検討している。

そのほか町社会福祉協議会、公民館、青年会、婦人会でも「たすけあい運動」を展開し罹災者の救助にあたることになつた。

今回の火災で焼け出された気の毒な人々は次のとおりである。

高橋　文蔵（鮮魚商）
武石　政治（製菓業）
御所野卓二（軍手製造）
杉淵忠次郎（洋品店）
工藤東之助（菓子商）
斎藤　修助（煙草商）
福岡重左衛門（無職）
戸松　与市（日雇）
平川　純蔵（運転手）
金村　在淑（パチンコ）
松岡　鶴三（食品店）
佐藤　勝二（自転車店）
新田　タケ（果物店）
佐藤　カヤ（無職）
松橋　四郎（自転車店）
北林　ナカ（飲食店）
高橋　福治（鮮魚商）
佐々木理作（鉄道員）
安達　定身（同）
後藤　久三（酒商）
佐藤　直治（理髪店）
金沢　完龍（無職）
福岡　重治（同）
簾内　米蔵（鉄道員）
川田　東一（公務員）
高橋　大俊（無職）
村形　武治（同）
長岐　二郎（歯科技士）
佐藤　セツ（理髪店）
佐藤　徳子（無職）
（以上は全焼世帯）
庄司　直蔵（雑貨店）
村形市三郎（食料雑貨）
（以上は半焼世帯）



（写真＝燃える現場と焼跡の惨状）

第六回町議會

三十日まで休会

第六回町議会は去る九日西小学校に招集されたが、議案上程前に議長は「新町建設財政五ケ年計画」を当局に提出させ、全員協議会で審議しようとしたが、旧村関係の決算や持寄財産の引継等が完全に行われていないのに財政的裏付の不明確な財政計画を審議しても妥当ではないと云う意見が出され、協議の結果旧村決算の引継、持寄財産の確定等が先決問題であると云うことになり、二十一日まで休会し、休会中に前記の諸問題を解決することゝなつたなお、当日は町当局に対する一般質問が行われたが、その主なるものは次のとおりである。

◇

▼関喜兵衛議員
広報は町長の新聞ではないか？　九月二十日付第四号を見ると東西両地区の議員が議会を流会に導いたと書いているが、事実と相違している。一体広報編集発行の責任はどこにあるのか……。

▼町　長
広報は決して私的なものではない。内容に事実と相違するものがあれば訂正させる。誤解を招く様な記事のあつたことについては遺憾である。読む人によつて夫々主観で、必らずしも議会を誹謗する様な記事ではないと思つている。編集には直接タッチしていないが発行の責任は役場にある。しかし事実を事実として広報することには今後とも努力したい

▼松橋長太郎議員
旧村よりの引継事業である「摩当沢線」の工事状況はその後どうなつているか？。

▼町　長
予算二百万円程度を計上しているが　この程度の予算では路面だけでヤツトと云う状態で全く心細いと思つている。また地元からは米内沢町側の様に立派な工事にしてほしいとの声もあり、それらの調整などの関係で思う様に進行していない。申し訳ないと思つている。

（これに対し土木委員長より町費二〇〇万円及び補助金地元負担金の見通しのつき次第実施すべく決議せる旨発言あり）

▼松橋（長）議員
水害による土木災害の復旧はどうなつているか。隣村上小阿仁では相当進行していると聞くが本町の場合はどうか。

▼町　長
色々と疑義の点等あるのであくまでも諮問機関的なものとして設けたいと考えている。議会休会中にでもこの調査は再開したいと思う。

▼木村恒三議員
土木災害については先刻承つたが、農耕地関係の災害復旧の促進状況はどうなつているか。

▼町　長
耕地災害の復旧は土木災害の復旧と異なり、その事業主体が土地改良区、農協、個人等なので、その復旧は遅々としているが、機会あるごとに関係機関に対し高率補助の適用、融資の拡大などを強力に仂きかけている。

▼関議員
最近当町国保の受診証はどこの医者に行つても受附けられず、全額徴収されていると聞いている。「合併したら不便になつた」と云う声も聞かれるが、この様なことのないようにしてほしい。

▼町　長
医療費の支払いが滞つてこうなつていることは事実であり速やかに解決をはかりたい。
また米内沢病院の場合は近く医者の入替等の関係もあり、このための整備の関係も影響しているのではないかと思う。

▼成田七五郎議員
今年は近年にない豊作だと云われているが、本町の作況は昨年に比較してどうか。

▼町　長
昨年までは村内の農業団体や、県、国の関係機関が夫々坪刈りなどで実収量の調査を行なつていたが今年はやつていないので明確な実収量はつかんでいない。
しかし、災害地を除いては大豊作とは云えなくとも不作でないことは確かだと思う。私は国県の関係機関の人達と逢うたびに、考えていられるほどの大豊作ではないと説明している。
これで主なる質問を終り町長から、「営林署誘置運動」の経過について次のとおり報告があつた。
「七座営林暑の所在地である麻生部落が今月から二ツ井町に編入され、また同署の事業区域である山林の七〇％までが当町に所在することゝ考え合せてみた場合、営林署の誘置は有望になつて来たと思う。
過般上京して柴田林野庁長官をはじめ各主脳と会つたが、実現させたいとのことであつた。最近秋田営林局では時期尚早説をとなえている向もあるが実現には努力したい。林野庁と営林局の意見の調整に力を注ぎたい。今後とも一そう努力したいと考えている」
なお町会は三十日午前十時より再開される。
（文責、広報係杉淵佐一郎）

〔訂正〕広報第四号「第五回町議会遂に流会」の記事中、東西両地区の議員が流会戦術に出たとありますが、各地区とも退場者続出のため議会は成立せず流会となつたものと訂正いたします。（係）

合併記念式典

十一月五日に擧行

去る六月末の大水害のため七月初旬に挙行する予定だつた「合併記念式典」は無期延期されていたが　いよ〳〵来る十一月五日に挙行することゝなつた。
合併を記念する行事の一端として既に去る九月中旬小中学校、青年会、婦人会の記念運動会は実施されて、今回はスポーツ行事はないことになつているが、式典当日はNHK素人のど自慢大会が催されることゝなり又当町において第四回阿仁部農産品評会も開催される予定ので、町内は云うに及ばず阿仁部各町村より相当多数の人出が予想され盛況が期待されている。
記念式は県知事以下各界よりの来賓多数を招いて行われるが、合併功労者の表彰永年勤続退職者等への記念品贈呈を行うほか、町では各世帯に対して記念品（手拭、梅苗木）の配付等を計画している。
また西中学校で行われるNHK素人のど自慢コンクールは、当町としては始めての催しであり、アトラクションとしてNHK専属の伴奏者として畠山浩蔵（尺八）渋野梅若（三味線）佐藤貞夫（ギター）鈴木富雄（アコーデオン）歌手としては山田美津子、伊藤不士夫（以上民謡）伊藤要、岩谷静子、佐藤久枝（以上歌謡曲）のベテランが来町することになつており、多数の出演希望者の申込を歓迎している（今回ののど自慢は放送局の都合で残念ながら録音放送はされないことになつている）

国勢調査結果まとまる

人口は前回より減

国勢調査の結果については目下統計係で調査票の審査を行つているが、本町の人口は一二、五〇七人、世帯数は二、一一七戸であることが判明した。
前回（昭和二十五年）調査よりも一六四人の人口が減少している。
なおこの数字は総理府統計局において最終集計を完了してからでないと確定しないので、若干の増減はあるかも知れないと係では語つている。

解説　町政の展望

◇財政に関して

合川町となつて町財政が何故苦しいか。これは町民の誰しもが知りたいことゝ思う。合併によつて引継がれた旧村分支払義務額（旧村の滞納税金、支払繰越及び赤字）が約千二百万円もあるので、新町の発足が決して華やかなものでないことを知り得ると思う。

それに新町では合併後の諸建設事業や旧村引継継続事業の施行があり、又住民の産業経済、社会福祉に及ぼす一般的予算は旧四ヵ村個々慣例の最高を支弁しているし、また合併初年度の今年は職員退職に伴う退職金合併記念的経費の支出、それに六月大水害による諸支出等が累増しているので、合計して本年度は実質的に町財政を圧迫する額は二千万円前後となる模様であると思われる。

合併して基本的に行政環境が変化したので、それに投入しなければならない巨額の支出を目前にひかえており、また合併によつて地理的に不便となる地域への福祉施設（たとえばガソリンポンプ、電話、電灯、保育所など）の整備による住民均等利便の問題等があるので、新町の建設は財政的にのみみても苦難の連続とみてよいと思うし、このような財政状態は合併後十年間は続くものと思われる。

それではどうして、この数億円となると思われる合併後の諸施設の実現を行うかと云うと、合併による行政費の節減で十ヵ年間に一億円、その他は全く国及び県から長期債と補助に依存しなければならないのである（純然たる町単独事業以外は町費三分の一から二分の一程度の事業が多いのである）

これが概括的な町財政の現況と十年間の見通しであるが、この諸計画を遂行するために年間を区切つて一時的に借入出来る金額は現行議決の範囲では一千万円であるので、金繰りが苦しく町税の期別完納が期待される所以である。

◇政治状勢に関して

この問題を解説することは非常に難しいことであるが町政の現況概要を知りたいと思う心は前述の財政状況と同様に、町民斉しく考えておることゝ思う。

地方自治体である町は、町長と議会が最高の権限をもつていることは誰しも知つていることである。

この外に教育委員会、農業委員会が夫々独立した権限をもつているが、こゝでは町長と議会の権限を中心に現在の町政の状況を分析してみることにしよう。

町長と議会はそれぞれ町民に対する責任をもつており又投票の形式で町民から町政に関する権限を信託されているわけである。

そして町長は地方自治法を中心とした諸法律及び町議会の議決を経た町条例及び予算、単行議決に基いて実際に町政を執行する執行機関であり、町議会は町長から提案された（町議会からも提案出来る）町条例、予算、単行議案を審議し、その可否を議決する議決機関なのであるから、それぞれ異なつた権限をもつて町民から信託された線を基本とし、円満な町政の発展に努力するわけである。

町政が紛糾する場合は、たいい執行する立場と議決する立場の見解の相違があつた場合が通常の例であると思う。

では当町の町政の場合はどうであるかと云うと、合併町村の特例によつて旧村の議会議員が、旧村と新町の引継及び新町の発足を円満に行うと云う意味においてその任期が一ヵ年延長されるが、明治二十何年かに旧部落が村として発足してから長い年月を経た今日でもなか〳〵部落相互間の調整がとれない場合もあると同様に、旧四ヵ村の調整がなか〳〵とれないために、議会議員個人及び議会全体としても未曽有の困難な問題に対決する場合が多く、合併後それぞれその調整に全力を傾注し努力し合つているのがその現況とみていと思う。

その職務を行つているのであるが、これにはそれ相当の理由があり、町長及び町議会の責任の大きいことを痛感する。

旧四ヵ村の境界はなくなつたが、心の境界は未だ旧四ヵ村にあり、新町建設への踏切りが一日遅れることは合川町にとつて大きく将来の不利益となることを考えるとき、お互いが全体的立場からの批判の開陳が合川町建設の土台であること銘記すべきではなかろうか。—S—

※文中の数字等は概括的なものである。

校旗圖案入選發表

先に広報紙上を通じて校旗図案を募集中のところ応募者四十八名の多数にのぼり過般関係方面各位の審査会において次のとおり入選作品を決定いたしましたのでこゝに発表するとゝもに、応募下さつた各位に深甚なる謝意を表します。

一、入選者

合川西中学校教諭　明石　安生

一、佳作

合川町教育委員会事務局　工藤　昌

合川北中学校教諭　細田　三郎

一、入選作品（次の通り）

（説明）

◉上部には森吉山を表わし下部には大阿仁、小阿仁の両川を表す。川の下の白線二条は中学校を表わす。

色彩は緑色をもつて平和を表わし青色は大空の広大さを表わす。

旗の地色は各学校ごとに別々の色をもつて区別する。又全体の形により「雄飛発展」を表現するものとする。

合川〇中学校

（地色は各学校毎に変える）

阿仁部農産品評会

三日から當町に於て開催

阿仁部農協連合会主催の阿仁部農産品評会はその第四回を当町を会場として開催されることになつた。

過去三ヵ年にわたりこの品評会が当阿仁地方の生産技術の向上、品質の改善に貢献した功績はまことに大きく、さらに全国的にも有名な県種苗交換会のブロック予選をも兼ねて行われるので、農民各位の出陳を関係者は望んでいる。

そこで今回はこの品評会に出陳を希望されている農民各位のために出品物の規格単位等について詳しく掲げて参考に資するとともに、会期中に行われる諸行事等をも紹介し、「阿仁部農民祭」の盛況を期待しよう。

◇開催要項

▽会　期

十一月三日～六日迄

▽会　場

第一会場（合川西小学校）

第二会場（合川西中学校）

第三会場（李岱部落市場）

◇出品物の種類及び単位

▽俵米（三俵）

▽水稲（一〇株、五株づゝ二把とす）

▽陸稲（二〇株、一〇株づゝ二把とす）

▽雑穀（麦、大豆、小豆、菜豆、そば）（各一升、別に審査用として一合づゝ提出）

▽きび、あわ、もろこし、とうもろこし（各五株審査用は不要）

▽体菜（二株）

▽果実（五個、房成のものは二房、栗、くるみは五合とす）

▽太　葱（二〇本）

▽玉　葱（五個）

▽白　菜（二株）

▽人　蔘（一〇本）

▽ごぼう（一〇本）

▽大　根（二本）

▽長いも（二本）

▽南　瓜（二個）

▽甘　藍（二個）

▽馬鈴薯（六個）

▽甘　藷（五個）

▽里いも（一升）

▽桑　苗（一〇本、但し三年未満のもの）

▽杉　苗（一〇本）

▽葉煙草（五〇枚）

▽玉　縄（二個、三貫目玉とす）

▽みの類（一枚）

（註）

一、出品物は本年度自己生産に係る優良品とす。

二、出品単位を誤ると審査対象にならないので単位を誤らないよう注意すること。

三、細部については県種苗交換会出品規定が準用される。

四、出品物の等級は壱等、弐等、参等及び四等に区分し夫々褒賞授与するが入賞は総数の二割に相当する数とす。

五、出品物の搬入は十一月三日正午より受付するので事前に各町村ごとに取まとめ出品目録を添えて会場に搬入すること。

六、出品物の販売は希望により時価をもつて売却し代金は各組合の出品者貯金口座へ振り込むものとする。

◇会場案内

（第一会場）（西小）

農産物、農産工芸品、加工品の展示及び講演会の会場

（第二会場）（西中）

俵米、羊毛加工、東北電力、四Hクラブ、米内沢高等学校、大覚台伝習農場、生活改善、栄養料理等の参考品展示会場

（第三会場）（市場）

農機具展示会場

◇行事案内

▽十一月三日

○会場整理、出品物搬入及び受付、陳列（八時～一六時、但し受付は正午より）

▽十一月四日

○農民祭開会式（八時）

○阿仁部農協青年部結成大会（一〇時）

○営農講演会（一三時）

○農協婦人部座談会（一三時）

▽十一月五日

○阿仁部連青駅伝競走（八時出発）

▽十一月六日

○褒賞授与式（一三時）

○閉会式（一五時）

◎なお会期中、農協婦人部では第一会場に食堂及び売店を設けて参観者の便をはかるので大いに利用されたいとのことである。

—S—

町から三本の優勝旗

合併記念体育大会に

合併記念体育大会は今後毎年定期的に開かれることゝなるわけであるが、町では同体育大会に優勝旗を寄贈することゝし弘前市日進社に註文中のところこのほど到着したので第一回大会の各優勝団体に対し夫々寄贈した。

なおこの優勝旗は今後毎年優勝団体の持廻りとなることになつた。

（写真＝町より寄贈の優勝旗、右から小学校、中学校、青年会の分）

慶弔だより

（自九、一〇　至一〇、一九）

【出　生】

桜庭敏昭　正二二男＝下杉
工藤次男　三郎三男＝上杉
長沼正男　長三長男＝道城
松橋秀男　茂男長男＝同
二階堂文子　一郎三女＝上杉
米倉久美子　三造孫＝同
松岡秀勝　米蔵二男＝羽根山
近藤悦子　礼治孫＝李岱
鈴木浩二　幸蔵長男＝福田
藤岡睦子　易松孫＝羽立
新田久子　惣十郎孫＝新田目
松岡正美　佐久治長男＝羽根山
岩川明男　七郎六男＝李岱
平川義春　与次郎二男＝同
加藤英一　喜代治孫＝鎌沢
伊藤光和　与五郎孫＝杉山田
高橋敏職　吉雄長男＝木戸石
奈良清宣　清助孫＝増沢
藤島良美　国太郎三男＝木戸石
小田慶子　信一孫＝木戸石

【死　亡】

森岡トク　昌千代母＝道城
伊藤誠子　卯之原孫＝鎌沢
桜田悦子　陽二長女＝東根田
杉淵三治郎　寅五郎父＝増沢
高橋スエ　万助妻＝八幡岱

あなたはもうお納めになりましたか？
今月は
「県町民税」
「固定資産税」
「健康保険税」
第三期の納期です！

七〇才以上が五〇人も多い

敬老式にみる女の長生き

本町各地区の敬老式は去る九月の「としよりの日」を中心に行われ、この日二百五十余名の老人たちはそれぞれ可愛い孫たちに手を引かれて各地区の式場において町当局心づくしの酒肴に舌づゝみを打ちながら学童達の芸能に楽しい一日を過し、夫々記念品を贈られたが、厚生係にまとまった統計からみると女の人達に長命者の多いことがわかつた。

名簿からみると、本町の高令者（七十才以上）は二五二名であるが、そのうち男は一〇二名、女は一五二名と女の方が五〇名近くも多い。

ある人は「男には酒飲みが多く高血圧に倒れる人も多いのでこう云う結果ではないか……」と言つていたが長生きしたかつたらあんまり飲むなと云うことになるかも知れない……。

本町の年令別高令者数は次のとおりとなつている。

（七〇才）男一七　女一六　計三三名
（七一才）男一〇　女一四　計二四名
（七二才）男一〇　女一六　計二六名
（七三才）男八　女一四　計二二名
（七四才）男一〇　女一六　計二六名
（七五才）男八　女八　計一六名
（七六才）男六　女九　計一五名
（七七才）男七　女一四　計二一名
（七八才）男四　女一二　計一六名
（七九才）男六　女九　計一五名
（八〇才）男四　女五　計九名
（八一才）男三　女六　計九名
（八二才）男二　女六　計八名
（八三才）男二　女三　計五名
（八四才）男二　女一　計三名
（八五才）男一　女五　計六名
（八六才）男ナシ　女二　計二名
（八七才）男二　女一　計三名
（八八才）男二　女ナシ　計二名
（八九才）男一　女ナシ　計一名

（註）（この数字には東地区の敬老式適令は七五才以上であるため同地区の七〇才から七四才までの数は含まれていない）

（写真＝可愛い孫たちの舞踊を見る老人たち，北地区にて）

NHKのど自慢　出演者募集!!

新生「合川町」の発足を記念する「合併式典」の挙行に当り、行事の一端として「NHK素人のど自慢コンクール」を開催することになり、町内外より広く出演者を募集いたします。出演御希望の方は左記参照の上多数応募されるようお知らせします。

記

◎日　時　十一月五日午後一時
◎会　場　合川西中学校講堂
◎申込締切り　十一月四日午後五時
◎申込方法　出演種目、曲目、住所、氏名、年令、職業をハガキに記入の上申込みのこと。
（口頭、電話でも可）
◎申込場所　役場総務課のど自慢係
◎その他　出演者全員に記念品を差し上げます。

各地に着々新施設

南地区待望の部落電話竣工

南地区では旧下小阿仁村時代より予算二二〇万円で部落電話の架設を計画し昨年八月より着工、今春の町村合併とゝもに新町において継承し工事を進めていたが鷹巣電報電話局をはじめ関係各方面の協力によりこのほど竣功し、部落内の連絡が便利になつたと喜ばれている。

これで南地区には既設の電話を入れて加入者数が十九となつたわけであるが、今回竣功した電話は次のとおりである。

◎芹沢部落連絡所　一〇番甲（土濃塚一郎）
◎大内沢部落連絡所　一一番（松橋久郎）
◎三里部落連絡所　一二番（福岡瑞夫）
◎杉山田部落連絡所　一三番（伊藤留二）
◎雪田部落連絡所　一四番（山岡多郎）
◎鎌ノ沢部落連絡所　一八番（西村哲郎）
◎三木田部落連絡所　一九番（三浦甚助）

無電灯部落解消へ

彌栄・金沢の調査開始

町ではへき地文化振興を大きく考えているが、町内の無灯部落である弥栄、金沢（共に東地区）両部落への点灯に関して調査を開始、明年度にでも工事が施行できるよう国や県に要請運動することとなつた。

なおこの工費は長期融資々金を主体にして進められる予定である。

なお近日中に竣功式が挙げられる予定である。

また町では東地区（旧上大野）道城部落にも電話を架設すべく関係当局に仂きかけている。

李岱―下小阿仁間に直通市外線

去る十三日当町湖楽亭で開かれた阿仁部郵便局長会議に出席した、仙台郵政局、電々公社係官及び秋田通信部長等に畠山町長から李岱鷹巣、米内沢の二局の中継の架設について陳情した結果、本年度予算で実現されることゝなつた。

現在李岱、下小阿仁局間は約二粁より離れていないにもかゝわらず、市外電話は下小阿仁間に市外電話回線であるため「電話よりも歩いた方が早い……」と不評をかつていたものであるが、また役員選挙の結果は次のとおりであつた。

組合長　小林敬治
副組合長　福田宮松
同　佐藤和市
同　阿部久之助
同　佐藤長一郎
評議員　吉田徳治、高橋定雄、斎藤仁太郎、松岡芳蔵、鈴木惣一郎、佐藤勇、鈴木孫左衛門、金田正美、高橋吉之助

不振だつた助けあい運動

中間集計まとまる

六月水害の甚大な被害による被災者を救うべく、先に「全町たすけあい運動」を展開し広く町内から金品の募集を行つたことは既報のとおりであるが、被害は多少にかゝわらず全町に及んでいるとは云うものの、その結果は案外不振に終つている。まだ最終的数字は出ていないが、現在までに民生課厚生係にまとまつた中間集計は次のとおり。

（この数字には米約九斗一升を現金に換算した分が含まれている）（単位円）

部落名	募金額
川井	三、七八三
下杉	二、八七五
駅前	一、七四〇
杉山田	八八〇
鎌の沢	一、二四〇
東西根田	四、三七〇
上杉	六、四〇五
羽根山	二、〇七五
八幡岱	一、四九〇
木戸石	二、二〇〇
増沢	二、一〇五
三木田	八〇〇
三里	二、五六五
芹沢	一、三四〇
◎合計	三三、八七三

なお近く配分委員会を開いてこの金額は配分されるものと思われる。

また前記部落以外の分についても近くまとまる予定ですと係では語つている。

たばこは合川町内で買いましょう

東西両小学校の

創立八十周年記念式典

町立東小学校（旧上大野）及び南小学校（旧下小阿仁）では創立八十周年を迎え次の日程によつて記念式典を挙行することゝなつた。

◎東小学校
十一月二日（学芸会、作品展示会）
十一月三日（記念式典）
◎南小学校
十一月二日（記念式典）
十一月三日（学芸会、作品展示会）

盛況だつた合併記念体育大会

合川町の発足を記念する第一回記念体育大会は去る九月中旬、小学校は北地区、中学校は東地区、青年会及び婦人会南地区グランドに於て夫々開催されたが、この催しは時候の関係から来月上旬に開かれる町の記念式典に魅けて行われたのであるが、各地区各団体とも熱戦につぐ熱戦の一大スポーツ絵巻を繰りひろげ盛況の裡に大会を終つた。

なお大会の記録（細部省略）は次のとおりである。

◎小学校の部
一、陸上競技
優勝　北小学校　一四三点
二位　西小学校　一二八点
三位　東小学校　七八点
四位　南小学校　六一点
二、相撲
優勝　西小学校　三勝
二位　東小学校　二勝一敗
三位　北小学校　一勝二敗
四位　南小学校　三敗
◎中学校の部
一、陸上競技
優勝　東中学校　九三点
二位　西中学校　八〇点
三位　北中学校　七九点
四位　南中学校　五一点
二、相撲
優勝　南中学校
二位　西中学校
（以下記録不明）
◎青年会の部
優勝　東地区　九四点
二位　西地区　七五点
三位　南地区　六五点
四位　北地区　五八点
（写真＝小学校体育大会の一こま）

協定賃金は五五〇円

大工組合創立

町内に居住する大工（だいく）の賃金はこれまで高低まちまちであつたが、有志の間に「大工組合結成」の話し合いがまとまり、このほど東中学校に町内の大工四十六名が参集し「合川町大工組合創立総会」を開催し、組合規約設定、賃金の協定その他について協議したが、今後大工の賃金は一日五五〇円とすることなどを協定した。

社福協議会発足

本町の社会福祉増進をはかることを目的とする「合川町社会福祉協議会」がこのほど結成され、町内の組織的福祉活動を促進することになつた。

同会の行う事業及び役員は次のとおりである。

◎事業
一、社会福祉増進のための調査、啓発宣伝
二、社会福祉を目的とする事業の連絡調整及び総合計画
三、民生委員、児童委員等社会福祉奉仕の連絡指導
四、社会福祉事業従事者の連絡指導
五、共同募金その他社会福祉事業に必要な資金造成への協力
六、その他目的達成に必要な事業
◎役員
会長畠山義郎、副会長松橋由於、同奈良愛之助、同高橋欣二、理事松橋由於、同畠山義郎、同斎藤新、同佐藤七右衛門、同奈良愛之助、同嘉成淳三、同成田迪、同高橋欣二、同庄司修一、同金田英篤、同佐藤喜代治、同金田喜代之、同工藤イマ、監事庄司博、同三浦富司、同斎藤修助、（順不同）
評議員松橋盛久外六〇名は紙面の都合で省略。

町民の聲

あなたと共に
住みよい、働きよい暮しよい、合川町の建設。これが町政のモットーです。

農業團体の統合を急げ!!

今春、県内には町村合併によつて、適正規模の新町村が続々と誕生した。わが合川町もその一つである。行政機構も曲りなりにも経済、交通など文化の発達にマッチした体制となつて来たと思うが、農業協同組合、農業共済組合など、町村勢力を二分していると云われる経済機関は、まだ旧村時代そのまゝの姿で残つている。

新しい町が行政機関として適正規模であるならば、経済機関の規模としても適切なはずである。

したがつて農協、農業共済組合などの経済機関は、その機能を強化するため速かに統合の措置をとるべきではないだろうか。一つの町に四つも五つもの農協、共済組合が存在することは、経済的に極めて無駄なことであるばかりでなく、町村合併の趣旨にも反することではないかと思う。

最近また農業団体の再編成が叫ばれるようになつた。この際農業団体の最下部機関である農業委員会、農業協同組合、農業共済組合は政府の命令や法律にたよらずに自主的に合併して適正規模の農協、農委、共済組合をつくつてはどうか。一から十まで政府の指示をまたなければ経済機関である農業団体が動けないようでは、農業団体の自主性ということが全く無に等しいことだ。

本町の農業団体の指導者達は、よろしく達眼をもつて大所高所から農業団体の自主的統合を考えるべきであることを進言する。紙上を以て関係者の御意見を拝聴できれば幸いに存ずる次第である。(一農民)

第一回子牛品評会

一等一席に「あいかわ號」

第一回合川町子牛品評会は秋晴れの十三日、東中学校グランドにおいて町内五十余頭の子牛が参加して行われ厳重なる審査の結果、一等三点、二等六点、三等八点四等十一点の晴れの授賞子牛を決定し、午後三時終了した。授賞子牛及びその飼育者氏名は次の通り。

一等賞(町長賞、郡畜産組合長賞)

①あいかわ、牝、褐毛和種　飼育者三浦吉治

②きく、同、同　同　村形大助

③うめ、同、同　同　木村栄太郎

二等賞(町長賞)

①いつふじ、牝　褐毛和種　飼育者小林市太郎

②第二ふく、同、同　同　福岡勇太郎

③うづき、同、同　同　桜井平治

④ますひめ、同、同　同　小笠原喜市

⑤みつひめ、同、同　同　相馬三五郎

⑥たけつる、同、同　同　吉田福五郎

三等賞(町長賞)

①しげひめ、牝、褐毛和種　飼育者藤岡茂雄

他七名(省略)

四等賞(町長賞)

①たけひめ、牝、褐毛和種　飼育者斎藤竹松

他一〇名(省略)

畜産係では今後も毎年牛の評会を催したいと語つているが「良い仔畜は良い種畜から」ともいわれており、優秀な仔畜を生産することが第一とされている。

そこで優秀な種畜はどこにいるだろうかと思う人々もあろうと思うので、現在当町内に飼育されている種畜を紹介しよう。

これらの種畜はいずれも国又は県の登録種畜であり、優秀な子畜の生産は保証付?といつてもよいと思う。

〔種牛〕

◎福丸号、褐毛和種、飼育者安部和右衛門(合川町増沢(農林省所有)

◎羽衣号、同、同、三浦喜一郎(同梅栄)(秋田県所有)

◎栄号、同、同、泉屋典治(同芹沢)(個人所有)

◎福鶴号、同、同、鈴木久一(同鎌沢)(同)

〔種馬〕

◎与鶏号　アノ系、飼育者阿部六太郎(新田目)(農林省所有)

◎豊山号　同、同、伊東重雄(杉山田)(秋田県所有)

なお種豚、山羊、緬羊等は追つて紹介することにしたい。

苗木の秋植はこうして!

山に苗木を植付るのに、春植と秋植がある。本県では主として春植が行われている。しかし、ところによつては秋植も相当行われ、よい成績をあげているので、秋植についての注意を述べこれから秋植をしようとする人たちの参考としよう。

1、地拵、苗木の取扱、植付などに細かい注意をはらつて行うこと。

地拵にとくに丁寧に行い苗畑から掘りとつた苗木は、すぐ山へ植付ることが大切である。

春植の苗木のように、長い間仮植しておくと失敗の原因になる。

また秋苗はまだ成長をつづけているものであるから、梱包して長い日数輸送したりすると醗酵して枯れることが多いので、なるべく輸送しないように、また長い輸送日数を経たものを使用しないように、手近な苗畑のものを植付るようにするとよい。できるだけその日の植付本数だけを掘りとつて、その日のうちに全部植付るのが理想的であるが、この問題には殆んど触れずに少女時代の友達との友情や、フランス婦人の日常生活等を女2、雪や霜柱などのために植付けた苗木の根がゆるんでいるものがあるから雪どけのあと良く見廻つて手直しをすること。

以上のような点に十分注意して行えば、秋植は必ず成功し、翌春には早くから勢よく生長をはじめることになるのである。

「土壌と施肥の関係」科學的調査を開始

当町は施肥合理化対策の重点指導地域として県の指定をうけているが、その設計策定調査が二十日から開始されることになつた。

これは土壌と施肥の関係を科学的に分類した資料と図譜をつくるもので、本年度は南地区が対象となり、現代農業を科学的に経営するための最大の基本となるもので、指導者のみならず一般農家から期待するものが大きい。

慰霊祭日程決る

町遺族会では十八日合川西小学校で役員会を開き、今年度慰霊祭の日程等について協議したが日程を次のとおり決めた。

十一月七日　東地区
八日　西地区
九日　南地区
十日　北地区
同
同
同

芸し学

最近の読書から

◉パリのいしだたみ

外務省情報文化局に勤めている田付たつ子さんが、日仏文化親善使節としてフランスに渡つた記録であるが、一才から十八才までフランスで育つた田付さんの眼でみる懐しいパリの風物と人情が実にわかりよい。

主たる目的は、松方コレクション(松方という日本人が戦前世界美術の最高のものばかり集めていたものを日本の敗戦により、フランス政府に押収されていたもの)を日本に返還してもらい、東京上野に美術館を建て説してそれに収容したいと云うのであるが、この問題には殆んど触れずに少女時代の友達との友情や、フランス婦人の日常生活等を女子供等が多勢集つて来たので初めに子供向の漫画などを見せている中に、ボッボ当夜の「本能寺?」はいわゆる「計画産児」であるのでは来げることによつて蒙る利益で議事進行!!……。まず問題のスライドを映写してかなかつたが)で議事を進行させたわけであるが、受胎のみのものではないにも拘ら受胎調節用の器具や薬品調節とか計画産児という言らず、これを実現するための実行と努力については確を示してその具体的使用方法を説明、質疑応答、座談かに大部分の「男性」はわ会なども頗る賑やかでありがまゝだと云わざるを得ない活溌な発言の多かつたことのではないだろうか。を以てその効果の少なくなかつたことを認めた。

これが一つのキッカケとなつてその後木戸石部落婦人会からも是非に!!との要請があつたので、九月中旬保健婦二人と同道し、大体八幡岱のときと同じ要領(と話は少し古く今年の田植過ぎ頃であつたと思うが、八幡岱部落の婦人会からの要望もあつたので、一夜保健婦と同道し「幻灯器」など幻灯があると聞いた部落の子供等が多勢集つて来たので初めに子供向の漫画などを見せている中に、ボッボ当夜の「本能寺?」はいわゆる「計画産児」であるのでは来げることによつて蒙る利益で議事進行!!……。まず問題のスライドを映写してかなかつたが)で議事を進行させたわけであるが、受胎のみのものではないにも拘ら受胎調節用の器具や薬品調節とか計画産児という言らず、これを実現するための実行と努力については確を示してその具体的使用方法を説明、質疑応答、座談かに大部分の「男性」はわ会なども頗る賑やかでありがまゝだと云わざるを得ない活溌な発言の多かつたことのではないだろうか。を以てその効果の少なくなかつたことを認めた。

これが一つのキッカケとなつてその後木戸石部落婦人会からも是非に!!との要請があつたので、九月中旬保健婦二人と同道し、大体八幡岱のときと同じ要領(と

男と計画産児

民生課Y・N生

国保は単なる医療費半額給付のみが目的でなく、この様な会合も事業の一環であることなどを説明して了解と協力を求めたのであるが、健婦二人と同道し、大体八幡岱のときと同じ要領(と

△　△

◉天皇むかしむかし

この著は日本歴史を、天皇家からと、庶民の立場からとを平明に、戯作的に、そして公正な立場から綴つたもので、史実、考古、民俗学的それぞれの見方を総合したおもしろいものである。太古の「物忌み」「語部」等は我々の日常生活のなかにまだそのにおいが残つているような気がするし光明皇后を乙馬良(おとまら)という奴隷の生活を中心に映すあたりの手法も感心した。

国学院大、大場、早大、西岡、東京教育大、和歌森三教授の共同著作になる本である。

◉光ほのかに

アンネ・フランクという十三才のユダヤ人の女の子が、第二次大戦中、居住していたドイツから逃れてオランダのあるかくれ家に住んでいたが、間もなくオランダもドイツ軍のために占領された。そこでアンネは両親と姉と、もう一組の家族と、かくれ家での共同カン詰生活をすることになるが、その間の日記である。

「現代の大学生」あるいは「桜木町事件」「もく星号の謎」等の社会時評調のものもおもしろいが、雪を日本の最大資源として雪の効用を書いたものなどは、北海道や東北信越地方に住む人々の心に大きな希望を与えるものと思う。

◉イグアノドンの唄

雪の博士として、世界的に有名な北大教授中谷宇吉郎博士の随筆集。

科学者の随筆ではない。やはり雪の結晶を研究されて原子の解明へと進む夢の発展だと思う。

アンネはドイツで学校へ行つて朗らかな友達の多い子供であつたが、かくれ家生活では学校へも行けずに父から種々の勉強を教わる。でも、どうしてもスクールの集団生活がなつかしい。男女のなつかしい友達を思い出している。

そのうち戦争が激しくなると、食糧や物資の欠乏等と共に、かくれ家生活なのでいらいらして、もう一組の家族との間がしつくり行かなくなる。両親の心が荒れてくると、理由もなく子供達にそのうつぷんが来る。アンネはこの間のことを成長してゆく子供の心理で実に良くメモし、日記をつける。それはキテイという仮定の名称を日記帳につけて友達への告白の形式をとつているのである。

二人で話し合うことが最大のたのしみとなり、遂には姉とその少年の間に何もないことを嫉妬し始める。でも姉はいつもやさしく彼女を導いて行こうとする。

母は大変心配して、二人だけで話し合うことを止めようとする。アンネはこの母が嫌いになる。

アンネの父はがみ〳〵言わないので、アンネを良く理解してくれるものとして彼女は父を長敬する。

そのうち、かくれ家は敗走するドイツ軍に発見されて皆ユダヤ人収容所に収容され、そこで一家のうち父が生き残つただけで、別々の収容所でそれぞれ死亡する。

この日記は、かくれ家当時出入りして居た洗濯女がアンネから預り、後に彼女の父の手に帰り、子供の霊を慰めるために公表され、全世界多数の読書人に読まれる本となつたものである。

(畠山義郎=町長)

あとがき

○十九日早朝、駅前の繁華街が焼けた。

六月水害につぐ本町にとつては二度目の災禍である。だが罹災者は災火の中から雄々しく起つて復興に励んでいる……。

復興の一日も早からんことを祈りたい。

○水害で延び〳〵になつていた「合併記念式」も来る五日と決つた。

準備に忙殺されながらも漸く第五号の編集が終つた。皆さんと共に来るべき日の盛況を期待したいと思う。

○「今年豊年だ!!万作だ……」といわれている。まことに嬉しいことだ。だが豊作に酔うのはいけない……。

供米や一般作物の代金はまず貯蓄にまわし、経営の合理化、生活の計画をはかりたいものだ。

○何んと云つても秋は絶対よろしい……。

新米はとれる。山海の珍味が集る。

秋祭、婚礼、行楽などのシーズンでもある……。

しかし意味のない慣わしを避けて、本当に明るく健康な新生活の確立につとめたいものである。

○ではみなさん、次号でまたお目にかかりましょう

—S—

あなたはもうお納めになりましたか?　今月は
「県町民税」
「固定資産税」
「健康保険税」
第三期の納期です!!